



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S Monthly Letter



フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 Final 目次

2025-26 年度 ガバナー補佐退任挨拶

第1グループガバナー補佐	竹内 秀樹(羽幌 RC)
第2グループガバナー補佐	沢田 広志(砂川 RC)
第3グループガバナー補佐	西方 洋昭(岩見沢 RC)
第4グループガバナー補佐	池田 和陽(札幌手稲 RC)
第5グループガバナー補佐	菅原 秀二(札幌大通公園 RC)
第6グループガバナー補佐	笈川 長生(小樽銭函 RC)
第7グループガバナー補佐	橘 功記(北広島 RC)
第8グループガバナー補佐	高橋 祐之(えりも RC)
第9グループガバナー補佐	川本 康裕(室蘭北 RC)
第10グループガバナー補佐	堀田 剛史(函館 RC)
第11グループガバナー補佐	吉村 昭夫(函館東 RC)
第12グループガバナー補佐	平田 幸彦(苫小牧東 RC)

地区 VTT・グローバル委員会	委員長 大川 武志(恵庭 RC)
地区ポリオプラス委員会	委員長 志田 勇人(札幌幌南 RC)
地区財団資金推進委員会	委員長 黒川 篤(札幌北 RC)
地区米山記念奨学・学友委員会	委員長 三浦 信一(札幌清田 RC)
地区ローターアクト支援委員会	委員長 齋藤 聡(岩見沢 RC)
地区 RLI 委員会	委員長 平川 香織(札幌手稲 RC)

IM 報告 / RLI セミナー報告 / ローターアクト地区年次大会報告

第1グループ IM 報告	
2025-2026 年度第1グループガバナー補佐	竹内 秀樹(羽幌 RC)
第7期 RLI セミナーを終えて	
地区 RLI 委員会	委員長 平川 香織(札幌手稲 RC)
ローターアクト地区年次大会報告	
赤平ローターアクトクラブ	会長 伊達大智

地区現新ガバナー補佐引継会議報告 / 地区新会員研修セミナー実施報告

地区現新ガバナー補佐引継会議を終えて	
地区代表幹事	岩川 信子(函館亀田 RC)
地区新会員研修セミナー実施報告書	
新会員研修委員会	委員長 松永 英樹(室蘭東 RC)

周年記念式典・祝賀会報告

「札幌北 RC 創立 55 周年記念式典・懇親会」報告	
第4グループ札幌北ロータリークラブ 実行委員長	姫野 芳安
「当別 RC 創立 50 周年記念式典・祝賀会」報告	
第3グループ当別ロータリークラブ	会長 宮司 正毅
「余市 RC 創立 65 周年記念式典・祝賀会」報告	
第6グループ余市ロータリークラブ	会長 笹浪 淳史
「札幌南 RC 創立 70 周年記念式典・祝賀会」報告	
第5グループ札幌南ロータリークラブ	会長 荒井 竜一

2026 台北国際大会 報告

2026 台北国際大会 報告	
国際大会推進委員会	副委員長 斎藤 仁(小樽南 RC)

2025-26 年度 地区委員長挨拶

地区新会員研修委員会	委員長 松永 英樹(室蘭東 RC)
地区文献資料室委員会	委員長 小里 学(札幌幌南 RC)
地区ロータリーフェローズ委員会	委員長 鄭 子龍(札幌モーニング RC)
地区会員増強委員会	委員長 嵯峨 義輝(岩見沢 RC・PG)
地区クラブ奉仕委員会	委員長 松下 早苗(栗山 RC)
地区公共イメージ向上委員会	委員長 小川 有積(岩見沢 RC)
地区 ICT 委員会	委員長 里見 英樹(札幌幌南 RC)
地区職業奉仕委員会	委員長 大坪 誠治(美唄 RC)
地区社会奉仕委員会	委員長 佐々木 雅之(札幌幌南 RC)
地区国際奉仕委員会	委員長 高張 秀人(札幌手稲 RC)
地区青少年奉仕委員会	委員長 大泉 清(札幌モーニング RC)
地区青少年交換委員会	委員長 藏重 健人(札幌北 RC)
地区 RYLA 委員会	委員長 後藤 広隆(函館五稜郭 RC)
地区インターアクト委員会	委員長 阿部 竜司(札幌モーニング RC)
地区財団奨学金・平和フェロー委員会	委員長 瀧澤 隆之介(札幌北 RC)
地区財団補助金委員会	委員長 天内 和幸(札幌モーニング RC)

OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ 「余市 RC 創立 65 周年記念式典・祝賀会」報告	20p
■ 2025-26 年度 ガバナー補佐退任挨拶	2p	■ 「札幌南 RC 創立 70 周年記念式典・祝賀会」報告	21p
■ 2025-26 年度 地区委員長挨拶	6p	■ 2026 台北国際大会 報告	22p
■ 第1グループ IM 報告	13p	■ ガバナーノミニ決定宣言	23p
■ 第7期 RLI セミナーを終えて	14p	■ 令和7年青森県東方沖地震 義捐金報告	
■ ローターアクト地区年次大会報告	15p	/ 新会員のご紹介	24p
■ 地区現新ガバナー補佐引継会議を終えて	16p	■ 訃報	25p
■ 地区新会員研修セミナー実施報告書	17p	■ ハイライトよねやま	26p
■ 「札幌北 RC 創立 55 周年記念式典・懇親会」報告	18p	■ 5・6月米山記念奨学会寄付・	
■ 「当別 RC 創立 50 周年記念式典・祝賀会」報告	19p	ロータリー財団寄付・2月訂正分	28p
		■ 5・6月会員数・例会数報告	31p



Final 号の写真

「2025 年 7 月 27 日クラブ活性化ワークショップ」



感謝を胸に、新たな一歩へ

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

一年間にわたり、第 2510 地区ガバナーという大役を務めさせていただき、心から感謝申し上げます。

振り返りますと、この一年は本当に多くの出会いと感動に満ちた日々でした。

公式訪問では、地区内クラブを訪問させていただきました。それぞれのクラブには、それぞれの歴史があり、伝統があり、そして地域に根差した奉仕への情熱がありました。会長・幹事をはじめ、会員の皆様が温かく迎えてくださり、笑顔で語り合った時間は、私にとって何ものにも代えがたい宝物です。「クラブは違って、目指すものは同じ。」そのことを、訪問を重ねるたびに実感いたしました。

各グループで開催された IM では、それぞれの特色を活かした素晴らしい企画が用意され、ロータリーへの熱い思いが会場いっぱいにあふれていました。また、創立記念例会や周年事業では、多くのクラブが歩んできた歴史と、その歴史を支えてこられた先輩方への敬意に触れることができました。

さらに、地区大会では、多くのロータリアンの皆様のご協力により、地区が一つになる喜びを肌で感じることができました。大会は決して一人でつくるものではありません。実行委員会をはじめ、多くの委員会、サブチャンネルスタッフ、そして陰で支えてくださった数え切れない皆様のお力があったからこそ成功するものです。改めて心より御礼申し上げます。

一年間を通じて開催された地区チームラーニングセミナー、PETS、地区研修・協議会、クラブ活性化ワークショップ、新会員セミナー、各種委員会活動など、どの行事においても、地区の未来をより良いものにしようという皆様の真剣な姿勢に、私は何度も胸を打たれました。

そして何より、私を支え続けてくださった 12 名のガバナー補佐の皆様に、深い感謝を申し上げます。それぞれが担当グループのクラブと地区を結ぶ架け橋となり、時には私の思いを伝え、時にはクラブの声を届けてくださいました。クラブに最も近い立場で寄り添い、励まし、支え続け

てくださった皆様の存在があったからこそ、この一年を無事に終えることができました。

また、地区役員、委員長、委員、ガバナー事務所の皆様、そして陰で支えてくださったすべての関係者の皆様にも、心から感謝申し上げます。

私が掲げた地区テーマは「Revival 原点回帰」でした。ロータリーの原点を見つめ直し、その価値を未来へつないでいきたい。その思いで一年間歩んでまいりました。私自身、多くの歴史資料を読み返し、創立期のロータリーに触れる中で、改めてロータリーの本質は「人を大切にすること」とであると学びました。この一年、私が皆様に何かをお伝えしたつもりでおりましたが、実際には、私の方が皆様から多くを学ばせていただきました。皆様の笑顔、真剣な議論、地域への奉仕、仲間を思いやる姿。その一つひとつが、私自身を成長させてくださいました。ガバナーという役職には終わりがあります。しかし、ロータリアンとしての歩みに終わりはありません。これからは一人のロータリアンとして、皆様とともに学び、語り合い、奉仕を続けてまいります。そして、2026-27 年度の高野重幸ガバナーをはじめ、新しい地区リーダーの皆様の心から応援してまいります。

最後になりますが、第 2510 地区のすべてのロータリアンの皆様との出会いに、心から感謝申し上げます。皆様と過ごした一年は、私の人生におけるかけがえのない財産となりました。

本当にありがとうございました。そしてこれからも、私たちが愛するロータリーが、地域社会に、そして世界に、希望の灯をともし存在であり続けることを心から願っております。

国際ロータリー第2510地区 2025-26 年度 ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐
竹内 秀樹（羽幌 RC）

「ガバナー補佐の退任にあたり」

昨年7月から第1グループのガバナー補佐を何とか務めさせていただきました。玉井清治ガバナーをはじめ地区幹事・地区役員の皆様や、第1グループの各会員の皆様に大変お世話に成ったことにお礼申し上げます。私自身色々あり、思う事の半分も皆様のお役に立てなかったことに、残念な気持ちで一杯です。

第1グループの内問題点は、地域の人口減少に伴う会員減少、この課題が一番の問題点ではあるのですが、各クラブが色々方法・知恵で会員を維持している所は素晴らしいと思います。又IMでは、テーマはあるものの1番は各クラブ間の親睦をはかり有意義なIMではなかったかと思えます。

ロータリーも長い歴史を経て、運営の手法は、時代とともに変わってきましたが、その真髄は変わってはいないと思います。若い世代にそういう仲間も増やし理解してもらうよう努力したいと思えます。この1年間の経験を生かしてロータリーライフを前進して行きたいと思えます。ありがとうございました。



第2グループ ガバナー補佐
沢田 広志（砂川 RC）

「クラブと地区の架け橋」

1年間お世話になりました玉井清治ガバナー、地区幹事・各委員長・委員会の皆さま、第2グループ会長・幹事、並びに会員の皆さまにお礼申し上げます。

私自身、「クラブと地区の架け橋」を念頭にクラブへ寄り添い、「自然体でスムーズなコミュニケーション」がとれるよう努め取り組んでみました。そのような中を合同例会含めたクラブや奉仕活動の訪問見学等をさせて頂き、地域に根ざした多様な活動を見ることが体感・実感・共感へとなり、更にクラブ会長・幹事の皆さんとグループLINEを通して、様々な連絡・情報の共有を行えたこと、加えてクラブの皆さまがフレンドリーな心で受け入れていただき、皆さまと沢山のお話を伺い、同じ時を共有でき大変ありがたく感謝致します。

1年間の活動を通して、私自身様々な学びの場をいただき、クラブの皆さんの姿を見ながら学び教えてもらったことが多かったように感じております。

最後に、第2グループが「中空知での連携、空知川で繋がる絆」のもとクラブ会員皆さんが“ONE TEAM”の心を持ち続けられることを大きく願い退任の挨拶とさせていただきます。



第3グループ ガバナー補佐
西方 洋昭（岩見沢 RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

2025-2026 年度、RI2510 地区、第3グループガバナー補佐を1年間務めさせていただきました。今年度の第3グループ各クラブの会長・幹事さんは皆、フレンドリーで素晴らしい方々ばかりで多くの親睦の場において改めて8クラブの内情など詳しくお話しさせていただきました。様々な悩みがあるのだと実感しましたし、課題の解決策を見つけることも出来ました。また、3月に開催したインターシティミーティングには各クラブから多くのメンバーの登録をいただき大いに盛り上げていただきました。1年間、各クラブの会長・幹事さんに助けていただいた1年だったと思います。心残りは岩見沢東 RC が会員減少により今年度をもって終結となってしまったことです。玉井ガバナーと共に存続、合併、衛星クラブなど様々な可能性を探り相談を重ねましたが残念ながら続けることは出来ませんでした。ただクラブは無くなってもロータリアンの絆は繋がっていると信じております。

結びに、玉井ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、そしてグループ各クラブ会長・幹事、会員の皆様に、心より感謝申し上げ報告と致します。ありがとうございました。



第4グループ ガバナー補佐 池田 和陽（札幌手稲 RC）

「最後の我がまま」

ガバナー補佐の活動を通して感じたことを二つ、最後の我がままとしてお読み下さい。

まずは、夏場のガバナー公式訪問や地区公式行事、クラブ訪問時等に背広とネクタイの着用は改めた方が良く感じました。ロータリーにはポリオ根絶のTシャツが有ります。また、クラブ専用のロゴ入りポロシャツなどを持っているクラブも存在します。私の在籍する札幌手稲 RC にはロゴ入りクラブポロシャツが有ります。これは夏場の野外での奉仕活動用として制作いたしました。すなわちロータリーの公式活動用なのです。（冬用のロゴ入りジャンパーも有ります）今のご時世、少なくとも公共交通で移動するメンバーだけでも軽装をOKにするべきではないでしょうか。全ての軽装を許すのではなく「ロゴ入り」を着用すればロータリーの「品位や格式」を歪めることにはならないと思います。是非、RI 第 2510 地区内各クラブにてご検討いただければ幸いです。

次に第4・5グループに限った IM についてです。気になったのは、450名の登録者数に対して参加者は200名と言うことです。（近年の傾向でもあります）もし企画が良くなかったと言う事での前記数字だとしたら誠に申し訳なく思います。しかしながら企画も大事ですが、もう一つ会員が参加しやすい運営システムも考えるべきだと思いました。本年度は新会員への負担軽減の観点から IM と新会員研修を同日とした様に、IM を第4・5グループの合同例会とすれば、参加しやすく会員の負担軽減にもつながるものと考えました。

最後に、このような「我がままなガバナー補佐」を支えてくれました第4グループの会長・幹事、会員の皆様には大変お世話になり、ご支援いただきましたことを心から感謝申し上げます。



第5グループ ガバナー補佐 菅原 秀二（札幌大通公園 RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

1年間大変お世話になりました。玉井ガバナーをはじめ他グループのガバナー補佐の皆様、地区幹事・委員長・委員会の皆様ありがとうございました。また、第5グループの各クラブの皆様には特に御礼申し上げなければなりません。

ご存じのように、本務の多忙化に伴い、最低4回のクラブ訪問はかないませんでした。ガバナー公式訪問の際には夏休み中だったので何とか全クラブの訪問にご一緒することができたのですが、IM のお知らせの際には学期中だったので、私自身が全クラブを訪問する時間が取れず、IM の実行委員長に訪問していただいたクラブもありました。結局、合計2回の訪問しかできなかったことを、この場をお借りして謝罪したいと思います。ただ、その代わりに会長・幹事会は積極的に開催させていただきました。第5グループ単独の会長・幹事会に加えて、第4グループとの合同の会長・幹事会や新旧の会長・幹事会も企画しましたが、皆さんの情報交換や親睦に寄与できたなら、これに勝る喜びはありません。

1年間を通じて、なんといっても IM の準備・企画・実施が最も苦労したところですが、それだけにやり遂げた充実感も残っています。パートナーの札幌手稲 RC をはじめ、講演などにご協力いただいた、ローターアクトクラブの若い方々、財団学友会や米山学友会の皆さんにも感謝の意を表して退任の挨拶としたいと思います。



第6グループ ガバナー補佐 笈川 長生（小樽銭函 RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

2025年7月より上半期が始動開始されました。私個人的な話で恐縮ですが、体調を崩しガバナー公式訪問では2クラブの出席がかなわず玉井ガバナーには誠にご迷惑をかけ申し訳なく思っております。

小樽銭函 RC 創立50周年記念式典、3クラブ合同会議、第6グループ IM など無事終了する事が出来、安堵しておりました。

第6グループ会長・幹事を初め、多くの会員の皆様にはご協力・ご支援を受け行事を消化することが出来ました。本当に皆様方には感謝申し上げますとともにお礼申し上げます。

下半期後半まで順調でしたが、家内が体調を崩し介護でなかなかロータリー活動が出来ず皆様方にはご迷惑・ご心配をかけた事をお詫び申し上げます。

何もするに健康第一が基本と思いますので、皆様方にはくれぐれもご自愛されながらロータリーを楽しんでくださることをお祈り申し上げます。



第7グループ ガバナー補佐

橘 功記（北広島 RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

2025年7月から第7グループのガバナー補佐を務めて参りました北広島 RC の橘功記です。今回、年度後半の2025年末より、業務過多の状態に陥り、残念ながらガバナー補佐として十分な活動ができなくなりました。それでもロータリーの仲間からの助けもあり、何とかガバナー補佐としての職務を果たすことができました。改めて、北広島 RC をはじめとする第7グループの皆様、さらには玉井ガバナーをはじめとした地区のメンバーにも感謝して、2025-2026年度ガバナー補佐としての職務を終えさせていただきます。ありがとうございました。



第8グループ ガバナー補佐

高橋 祐之（えりも RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

一年間を通じて大変お世話になりました玉井清治ガバナーをはじめ地区幹事、地区役員の皆様、並びに第8グループの皆様に心から感謝申し上げます。

不慣れでどう取り組めば良いのか分からない中で皆様のご支援、協力の中で取り組めた IM も新たな取り組みとまではいかないものの、町の教育委員会の中岡、高橋両主事より町の歴史と自然についてお話いただき、参加いただいた会員の皆様に理解をふかめて頂き無事果たすことが出来ました。手を取りあい、さらに前へと進むロータリーであることを御祈念申し上げ報告に代えさせていただきます。



第9グループ ガバナー補佐

川本 康裕（室蘭北 RC）

「ガバナー補佐退任にあたり」

終わってみればあつという間でした。と言いたいところですが、私にとっては会長・幹事会、クラブ訪問、ガバナー公式訪問、IM の開催、地区におけるガバナー補佐出席の諸会議等、実質1年半の活動でした。私にとっては、一つひとつの事業をこなしていくという点では、終わってみれば1年間何とか役目を果たしたのかなと思います。

とは言え、ガバナー補佐を経験させて頂き、玉井ガバナー始め各グループのガバナー補佐の皆様、第9グループの会長・幹事及び会員の皆様そして地区役員の皆様には本当に

お世話になりました。この事は間違いなく財産になるでしょう。

今回、ガバナー補佐を経験させて頂いた中で印象に残った事を1つ挙げるとしたらやはり IM の開催でしょうか。テーマを「温故知新」とし、参加されるロータリアン皆さんが主役であるというコンセプトの元、「テーブルトーク」という手作りの IM を開催しました。ロータリー歴の長い会員から短い会員まで、テーマを決めて、ロータリーに対する多くの考えを聞く事が出来ました。皆さん眠ること無く、大変有意義な内容だとお褒めの言葉を頂きました。今回の IM は玉井ガバナーの活動指針の「リバイバル」と重なる部分もありました。各クラブの意見の分析を含め詳しくは報告書にまとめてあります。

最後になりますが、今回のガバナー補佐の役割を果たす事が出来たのは、ガバナー補佐幹事（第9グループ独自の役職）の菅原正明会員の全面的なサポートをして頂いたお陰です。（自他ともに認める所）私の長いロータリー歴（42年）の中で素晴らしい経験となりました。すべてのロータリアンに感謝申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐

堀田 剛史（函館 RC）

「ガバナー補佐退任のご挨拶」

玉井清治ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、委員長、委員会の皆様、第10グループの会長・幹事をはじめとする会員の皆様、ガバナー事務所の寺島様に心より感謝申し上げます。

振り返ると、ずっと学びの日々でした。各クラブから出される意見や悩みに応えられない自らの力不足を感じさせられたり、ガバナー補佐としての姿勢やあり方についてご指導いただいたりと、楽しさと厳しさが同居する貴重な経験になりました。

前半は、ガバナー公式訪問で玉井ガバナーに同伴して各クラブを訪問しながら、二人きりの車内でのロータリーについてのお話をお聞きし、深い学びになったことは、私のロータリーの経験の中でも最も濃密な時間の一つであり、忘れられない思い出です。

3月に開催した第10、11グループの合同 IM では、実行委員会の皆様と、良いものを作ろうと、喧々譁々の意見交換をして、本番では小川有積地区公共イメージ向上委員長からロータリーにおける公共イメージの役割や意義についてお話しいただき、さらに各クラブの公共イメージに関わる活動をグループ内で共有することができたことは貴重な機会でした。それらの学びを今後の各クラブの活動の参考にさせていただけたと考えています。



第11 グループ ガバナー補佐 吉村 昭夫（函館東 RC）

「第11 グループクラブの友情に感謝」

2025-2026 年度、RI 第 2510 地区 玉井ガバナーのもと、第 11 グループのガバナー補佐を拝命し、退任のご挨拶を一言させていただきます。

グループ内 4 クラブを 4 ～ 5 回訪問させていただきました（合計 18 回）。

始めに、各クラブ会長、幹事、会員の皆様とコミュニケーションを取って、グループ内の行事・奉仕活動を確認し、出来る限り参加させていただきました。また、各クラブ大変素晴らしい奉仕活動を行っておいりました。

そんな中、ガバナー補佐として温かくお迎えしていただき、本当に温かい友情を感じた 1 年でありました。

これも、ガバナー補佐という大役を拝命したからこそできる経験であり、私にとって貴重な経験をさせていただいたと思っております。

また、IM は、3 月に第 10・11 グループ合同で（函館 RC・函館東 RC 主催）開催いたしました。全クラブに全員登録していただき、グループ内 10 クラブの情報を共有し、親睦を図ることが出来た事と、第 10・11 グループ内の結束がより一層深まったのではと思っております。

玉井ガバナーのアドバイスのもと、第 11 グループの各会長、幹事、会員の皆様の友情のおかげで無事に、1 年間活動出来たことは私にとって大変な進歩であり、ロータリアンとして少しは成長出来たのではないかとと思っております。

最後に、玉井ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、グループ内の会員の皆様の温かい友情に感謝を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

1 年間本当にありがとうございました。



第12 グループ ガバナー補佐 平田 幸彦（苫小牧東 RC）

「ガバナー補佐退任にあたり」

この一年間を振り返り、玉井清治ガバナーの下で大変大きな学びをさせていただきました。

又、12 名のガバナー補佐の方々、そして各委員会の方々にも大変お世話になりました。

今回 RLI 研修を受けた事でファシリテーターの貴重な勉強もさせていただきました。

これからの私のロータリー人生においてこの上ない財産を得たような気持ちでいっぱいであります。

今後は、この得た知識経験を同じ仲間のロータリアンに伝えて行きたいと思っております。

第 12 グループは 4 クラブで構成されており会員数は約 150 名程ですが各クラブを訪問させて頂き、自分（苫小牧東 RC）のクラブのことしか分らなかった事が、他のクラブの歴史と活動をお聞きして大変勉強になりました。特に苫小牧 RC は創立 70 周年を迎えようとしております。その伝統を活かしつつ新たな奉仕活動にチャレンジしている姿勢には敬意を表したいと思います。

そして 4 クラブを回ってみて又新たな仲間が出来た様な気が致します。

5 月 16 日に第 12 グループとして「IM・インターシティーミーティング」テーマ「welcome in 苫小牧」で玉井ガバナーご夫妻をお迎えして、金澤市長にご参加頂き 12 グループの全員登録のご協力の中、無事に開催出来ました事に改めて感謝申し上げますと共に、今後も「奉仕と親睦」を共有し多くの仲間を増やして参りたいと思っております。

関係各位の今後のご活躍をご祈念申し上げ、一年間色々な人との出会いに感謝申し上げ、ガバナー補佐退任の挨拶に変えさせていただきます。

国際ロータリー第2510地区 2025-26 年度 地区委員長挨拶



地区新会員研修委員会

委員長 **松永 英樹**
(室蘭東 RC)

ロータリーでは、毎年退会者の約70%が入会5年未満の会員と言われ、入会間もない会員がロータリーの理念や活動について十分な知識を得る機会が少ない事が要因の一つではないかと思われます。

今年度、新会員研修委員会では、玉井ガバナーの「より多くの新会員に参加していただけるよう、身近な場所でコンパクトな研修を開催したい」との方針のもと3月14日の函館を皮切りに、岩見沢、札幌、苫小牧の4会場で実施することができました。開催にあたり、ご協力いただいた各地区のガバナー補佐ならびにクラブには大変お世話になり、ありがとうございました。

おかげさまで128名の会員にご参加いただき、アンケートでも「大変意義があった」「ロータリーへの理解が深まった」といった肯定的なご意見を多数いただきました。この成果を次年度にも引き継ぎ、新会員がより充実したロータリー活動を実践できるよう活動したいと思います。

本事業の実現にご尽力いただいた玉井ガバナーをはじめ委員会の皆様、研修開催にご協力いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。



地区文献資料室委員会

委員長 **小里 学**
(札幌南 RC)

2025-2026 年度をもちまして、第2510地区文献資料室委員会は、その役割を終え、活動を終了することとなりました。文献資料室は、地区内のロータリアンがロータリーの理念や歴史、活動について学び、理解を深める場として、多くの皆様にご利用いただけてまいりました。その歩みは、先人諸氏のご尽力と、長年にわたり運営を支えてくださった歴代委員の皆様のお力添えによるものであり、心より敬意と感謝を申し上げます。一方で、近年は情報収集や学習の手段が大きく変化し、デジタル化が急速に進展する中、資料の利用状況や出版環境も変化してまいりました。このような時代の流れを踏まえ、文献資料室委員会は一定の役割を果たしたものと、本年度をもって活動を終了することとなりました。しかし、ロータリーの歴史や理念を学び、次世代へ継承していく使命は、これからも変わることはありません。形は変わっても、その精神は受け継がれ、新た

な情報発信や学びの機会へと発展していくことを願っております。最後に、文献資料室の運営にご尽力いただいた歴代委員長・委員の皆様、ご利用いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。文献資料室委員会の歩みが、第2510地区の歴史の一頁として、今後も受け継がれていくことを願い、委員会最後のご挨拶といたします。



地区ロータリーフェローズ委員会

委員長 **鄭 子龍**
(札幌モーニング RC)

日頃よりロータリーフェローズに対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

2025-26 年度の主な活動として、「第2回ロータリーフェローズワークショップ」を開催いたしました。プレゼンテーションに慣れている若者たちの多様な報告が、大変興味深く、大いに勉強になりました。私は米山奨学生出身で、ロータリアンになってから長く地区米山委員会で活動しているので、米山記念奨学金プログラムには精通しておりますが、他のプログラムのことも詳しく知る機会となりました。フェローズが各プログラムを知って学ぶ場、フェローズ同士が交流できる場を提供し、フェローズの懸け橋になるような会になることを願って行っておりますが、ロータリアンの皆様への学びの場、理解を深める場にもなっていると感ずることができました。相互理解を深めることで、一層枠を超えた協力ができ、活動が広がるのでは？と期待しております。今回は、フェローズの皆さんからの報告に加え、各委員長にもご登壇いただき、ワークショップ形式で問題提起、目指す方向性など、熱い思いを語っていただきました。今後、各委員長と協力しながら、取り組んでまいりたい課題も見つかりました。

また、3回目となる「Let's enjoy cooking! 各国のお料理を楽しもう!」では、米山奨学生・学友が自国のお料理を披露、参加者全員が一緒に作ってワイワイ食べるという、「これぞ国際交流!」の楽しく料理文化を学ぶ会を行いました。石丸パストガバナーの全面的なご協力に改めて御礼を申し上げます。

最後になりますが、玉井ガバナー、行き届かぬ私を支えてくださいましたロータリーフェローズ委員の皆様、関係ロータリアン、学友会の皆様、ガバナー事務所寺島様に多大なご協力をいただき、無事今年度の活動を終了することができましたことに深く感謝申し上げます。



地区会員増強委員会

委員長

嵯峨 義輝

(岩見沢 RC・PG)

本年度、地区増強委員長として増強委員でもあるガバナー補佐の方々、各クラブの皆様と協働しながら会員増強に取り組んでまいりましたが、残念ながら例年同様、思うような成果には結びつかない一年となりました。クラブの歴史、地域性、会員構成、そして社会環境の変化が複雑に絡み合い、単純な施策では前進しない現実を改めて痛感いたしました。

しかし、各クラブで丁寧に議論を重ね、「なぜ増強が進まないのか」「クラブの魅力とは何か」を率直に語り合えたことは、数字以上の大きな収穫であったと感じています。とりわけ、若手会員の不安や負担感、ベテラン会員の期待との“温度差”を共有できたことは、次年度以降のクラブ活性化に向けた重要な気づきとなりました。

増強は一足飛びには進みません。だからこそ、クラブが自らの魅力を再確認し、1ミリの前進を積み重ねることが何より大切です。本年度の学びを礎に、次年度の更なる挑戦へとつなげてまいりたいと存じます。



地区クラブ奉仕委員会

委員長

松下 早苗

(栗山 RC)

今年度を振り返ってみますと、皆様のご協力には本当に感謝しかありません。

各クラブでの将来を思い描き、そこに向い活発なクラブ運営のための中長期的戦略計画をたて実行していく未来ビジョン委員会等設置のお願いや、クラブ会長にアンケートのお願い、My Rotrary や地区のホームページ等を活用しやすくなる広報ハイブリッドカードの認知に向けて全員に配布をするなど取り組んでまいりました。その都度ご協力頂きありがとうございました。

クロスオーバー交流会としてガバナーを中心に地区委員会の委員長はじめガバナー補佐の皆様と会員増強のために地区は各クラブに何ができるかという議題でディスカッションの機会を2度持つことができました。

念頭にあるのは「クラブ奉仕は会員同士の関係をはぐくみ積極的な会員増強計画を実行して活気あるクラブ作りを行うこと」というロータリーの基本理念です。このことを当委員会の委員全員で認識し協力して取り組むことができました。全てのことに、皆様の支援に感謝申し上げます。



地区公共イメージ向上委員会

委員長

小川 有積

(岩見沢 RC)

玉井ガバナーの重点推進事項の1つである「SNSの活用や広報活動を通じて、地域社会における存在感を高める」を委員会の柱にしていまいりました。

幅広い年代の方々（特に若い方々）にロータリーの活動を理解していただくことを目的に「地区公式Instagram」のアカウントを作成し、地区内の各クラブでの奉仕活動を紹介するための情報提供を呼び掛けてまいりました。しかしクラブからの提供はいただくことができず、地区委員会として運用の難しさを痛感したところです。今後は情報提供を待っているのではなく、こちらから情報を集めに行くべきと感じました。

また、同時に昨今クラブや地区でFacebookやInstagramなどが活用されていることを踏まえ、ロータリーの情報発信に皆さんが安心して積極的にSNSを活用できるように「国際ロータリー第2510地区SNS活用ガイドライン」を作成しました。今後もクラブでの活用を呼び掛けていきたいと思います。

結びに8月に栗山RC例会や、3月に第10・11グループ合同IMで「公共イメージ向上」についてお話しの機会を頂けたことに感謝申し上げ、一年間のお礼と報告とさせていただきます。



地区 ICT 委員会

委員長

里見 英樹

(札幌幌南 RC)

「ICTでつなぐ地区活動と新たな可能性」

本年度、ICT委員会では、地区内の情報共有をより円滑にし、各クラブの活動が見えやすく、伝わりやすくなることを意識して取り組んでまいりました。特に、地区ホームページの更新を通じて、行事案内や活動報告などを分かりやすく発信し、必要な情報にアクセスしやすい環境づくりを進めました。

また、生成AIをはじめとする新しい技術の活用についても、ロータリー活動の中でどのように役立てられるかを考える機会が増えた一年でした。文章作成、情報整理、広報支援など、ICTは今後さらにクラブ運営の負担軽減や活動の見える化に貢献できるものと感じております。

ICTは目的ではなく、人と人、クラブと地区をつなぐための手段です。ご協力いただきました各クラブの皆様、地区

役員・委員会の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、分かりやすく使いやすい ICT 活用を通じて、地区活動の一助となれるよう努めてまいります。



地区職業奉仕委員会

委員長 **大坪 誠治**
(美唄 RC)

今年度の職業奉仕委員会の活動としましては、職業 MAP の検討、地区ホームページの充実、講演会の開催、他委員会との連携、顔の見える委員会づくりの 5 つを柱に、「見える・学ぶ・つながる」をテーマに活動してまいりました。職業 MAP では、意向調査で 31 クラブ 99 名から回答をいただき、ご返事をいただいた約 9 割の会員が掲載可能との結果となり、今後の検討に手応えを得ました。また、地区ホームページでは「ミニ卓話」の掲載を開始しました。委員会主催の講演会には当地区 25 クラブ 51 名をはじめ、他地区からも多くの皆様にご参加いただきました。委員会は対面 3 回、オンライン 2 回の計 5 回開催し、「顔が見える関係」づくりが一步前進したと感じています。また、職業 MAP については ICT 委員会など他委員会との連携を進める予定です。さらに、函館東 RC、千歳 RC、札幌 RC、札幌東 RC、江別 RC、札幌ライラック RC、芦別 RC・赤平 RC 合同例会の 7 クラブで卓話の機会をいただきました。ただ、1 月は雪の影響を考え 3 会場が前日入りとなりました。次年度も委員長ですので、可能でしたら来年度は雪の少ない時期だと大変ありがたく思います。以上です。1 年間ありがとうございました。



地区社会奉仕委員会

委員長 **佐々木 雅之**
(札幌南 RC)

「2025 ～ 2026 年度を終えて」

いつも大変お世話になり、また各クラブに置かれましては社会奉仕活動をはじめたくさんの奉仕活動にご協力いただきありがとうございました。

今年度、地区社会奉仕委員会では地区内クラブの活動に実際に参加して皆様がどのような活動をされているのかを体験しようということで 2 つのクラブに参加いたしました。詳細は活動報告でしたいと思います。

まず、1 つ目は新札幌 RC で活動されております「白石区子どもワンダーランド」のイベントに参加させて頂きました。新札幌 RC からたくさんのメンバーが参加され地元の皆様としっかりと子供たちとの絆を築かれていることが良くわかりました。

新札幌 RC の皆様、大変お疲れ様でございました。

2 つ目は、札幌南 RC のベトナムでの海外奉仕活動に参加致しました。こちらは、①社会奉仕活動としてホーチミンの子供施設を訪問。②職業奉仕活動してホーチミンで活躍されている現地日本人の職場訪問。③ホーチミン市内の公園のゴミ拾い活動に参加。実際に現地で奉仕活動に参加してみまして得られるものがたくさんあり大変参考となりました。

このように地区内で各クラブの奉仕活動に参加し報告させていただくことが地区社会奉仕委員会のお役目の一つかとも思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



地区国際奉仕委員会

委員長 **高張 秀人**
(札幌手稲 RC)

「地区国際奉仕委員会の感想」

本年度、地区国際奉仕委員会では、国際奉仕の意義を改めて確認し、各クラブが国際奉仕に関心を持てるよう、主に三つの軸で検討を進めてまいりました。

一つ目は、新たな取り組みとして計画していたフィリピン第 3860 地区との事業です。しかし、当委員会のキーパーソンの退会により、継続的な連携が難しいと判断し、中止を決断いたしました。

二つ目は、ICC 事業設立に向けた検討です。玉井ガバナーの強い思いを受け、委員会としても協議を重ねましたが、継続事業としての体制づくりには課題が残り、今年度の実施は見送ることいたしました。

三つ目は、タイにおける既存事業の再検討です。これまでグローバル補助金事業として継続されてきましたが、現地の物価上昇や社会経済の発展により、従来型の寄付の仕組みでは十分な効果を発揮しにくい状況であることが確認され、保留いたしました。

実施に至らなかった事業もありましたが、国際奉仕は相手国との信頼関係、継続性、そして時代に合った支援の形を見極めることが重要であると学ぶ一年となりました。次年度以降も、各クラブの実情に合った国際奉仕活動が広がることを期待しております。



地区青少年奉仕委員会

委員長

大泉 清

(札幌モーニング RC)

地区青少年奉仕委員会は青少年に関わる3つの委員会（青少年交換委員会、インターアクト委員会、RYLA委員会）から構成されています。今年度はその全ての委員長が新しく任命された年度となりました。どの委員長も地区委員を経て委員長に就任しましたので、各委員会のプログラムもスムーズに引き継がれたと思います。

当委員会で今年度に取り組んだことは、インターアクトの学生にロータリーの青少年に関する様々なプログラムを紹介することと、そのプログラムに地区のロータリアンに参加して頂くことです。インターアクト委員会に出席させてもらい、参加している先生方にイベントの情報をお伝えして、学生に参加を促してもらえるようお願いしました。また地区内のクラブにも情報をお伝えして、少しの時間でも参加して頂けるようお願いしました。今年度で判ったことは、インターアクトの学生がイベントに参加するには、学校側の規則等で難しい場合があることです。次年度以降はインターアクトのイベントにローターアクターが参加させてもらえるようにしていこうと考えています。

次年度も引き続き青少年に関わるプログラムをできるだけ多くの方々に知って頂き、参加して頂けるように取り組んでいきたいと思いますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



地区青少年交換委員会

委員長

藏重 健人

(札幌北 RC)

2025-26年度より青少年交換委員長を拝命し、1年が経過いたしました。

まずは地区青少年交換委員を始め、青少年交換事業に関わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。いつも青少年交換事業にご理解をいただき本当にありがとうございます。

今年度の交換実績は、インバウンド学生がおらずアウトバウンド学生（タイ：3340地区）1名の交換にとどまっております。アウトバウンド学生が8月に帰国予定ですので、成長した姿を見ることがとても楽しみです。

当地区の青少年交換事業は、派遣候補生の募集から出発までに全10回のオリエンテーションを含む約1年事業となります。

2026-27年度はインバウンド・アウトバウンド学生それぞれ5名ずつの交換を予定しており、各受入れクラブの皆様

にとって賑やかで実りのある派遣事業となることを心より楽しみにしております。

また今年度は、既に青少年交事業を経験・終了された方々 ROTEXの活躍も目立つ一年となりました。彼らは過去に経験した青少年交換事業が実際にどんなものであったかをオリエンテーションに参加し説明する等、派遣事業のサポートをしてくれました。

当事業に参加した学生は皆、平和の親善大使であるとともに未来のロータリアンの卵です。ロータリークラブの理念の元、当事業が末長く続いていくことを願っております。



地区 RYLA 委員会

委員長

後藤 広隆

(函館五稜郭 RC)

「今年度の RYLA 委員会活動を終えて」

2025-26年度、初めて地区の委員長に任命していただきました。不慣れで至らない点があり多数の方にご迷惑をお掛けしてしまいましたが、皆様ロータリーの精神で温かくご協力、ご尽力をいただきまして誠にありがとうございました。

今年の RYLA セミナーの内容は、初めての試みで反省点や課題も多くなりましたが、洞爺湖町のユネスコ認定のジオパークで自然災害の怖さや、そこからの復興、共生をテーマとした、普段経験しない非日常の中でのリーダーシップを学ぶ機会となったことと思います。全ては玉井ガバナー、古野ガバナーエレクトをはじめ、洞爺湖 RCの皆様や多くのロータリアンのご協力のおかげです。

2026-27年度も第2510地区の未来のために RYLA 委員会全体で誠心誠意取り組んでいきますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

玉井ガバナー一年間ありがとうございました。



地区インターアクト委員会

委員長 **阿部 竜司**
(札幌モーニング RC)

地区インターアクト委員長を拝命して初年度を無事に終えることができました。今年度は、コロナ禍以前から数年ぶりに研修旅行を海外（台湾）にて実施することができ、インターアクト者たちにとって非常に有意義なものになったものと思います。また、例年開催している年次大会については、開催地である室蘭の歴史や地域発祥のスポーツ、地域の伝統料理である室蘭焼き鳥の製造体験など、道内地方都市ならではの充実したプログラムが実施され、こちらもインターアクト者にとって大変有意義なものになったものと思います。開催に大変尽力していただいた室蘭東 RC 並びに大谷室蘭高等学校インターアクト部の皆様に、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

その他、国際ロータリー第2650地区のインターアクト者との交流という貴重な機会もありました。同地区が北海道に研修旅行に来てくださり、当方は龍谷学園高等学校インターアクト部の皆様を中心として、地域を超えた交流を図ることができました。

次年度も、研修旅行、年次大会といった定例行事を中心に、様々なイベントや交流の機会を通じて、インターアクト者の活動を支援していきたいと思っています。



地区財団奨学金・平和フェロー委員会

委員長 **瀧澤 隆之介**
(札幌北 RC)

2025-26 年度、地区財団奨学金・平和フェロー委員会委員長を務めました瀧澤隆之介です。

委員長は、昨年に引き続き、2年目を務めましたが、少しは委員会運営にも慣れてきたと感じる反面、私事ですが、今年度は札幌北 RC の幹事も務めており、両者の職責を果たすことに苦慮した1年でもありました。

今年度は、2026-2027 年度のロータリー財団奨学生として、グローバル補助金奨学生3名、地区補助金奨学生1名の合計4名の奨学生候補者を選出しました。

うち、残念ながらグローバル補助金奨学生候補者2名は辞退することになりましたが、グローバル補助金奨学生1名及び地区補助金奨学生1名を選出することになりました。

グローバル補助金奨学生1名は、医師資格を持つ奨学生であり、手術麻酔や周術期管理の臨床経験も活かし、多胎児の母親というマイノリティに対する周産期支援についての研究を志しています。

地区補助金奨学生1名は、アートマネジメントを専攻した経験から、地域の中で芸術を活用することで、社会的孤立や精神的健康などの課題にアプローチし、「アートと福祉・医療をつなげ、持続可能な心のケアの仕組みをつくること」「国内外のアーティストと地域を結び、国際交流を推進すること」を志しています。

今年度の奨学生もユニークかつ有為な人材であり、こうした人材を支援することを通じて、世界をよくする手助けを行うことができ、また、奨学生にはロータリーに対する理解を深めてもらうことができたと考えます。



地区財団補助金委員会

委員長 **天内 和幸**
(札幌モーニング RC)

日頃から地区補助金事業にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度は、49 申請（内訳 RC43、RAC1、委員会 5）があり、12,000,000 円を超える地区補助金事業が各クラブ、地区委員会にて実施されました。

当地区において地区補助金を活用した活動が積極的に行われていることを、当委員会としても大変嬉しく思います。

今年度は委員長を拝命して二年目でした。より良い委員会運営を目指し改善を試みながらも、不慣れな点や至らぬ点がありご迷惑をおかけした点があったことを、この場を借りてお詫び申し上げます。そうした中で、無事今年度の委員会運営を終えることができたのも、ひとえに各クラブのご協力やガバナー事務所のサポートがあったからです。深く感謝申し上げます。

次年度、委員長として3年目を迎えますが、これまでの経験を活かし、当地区における地区補助金を活かした活動が積極的に行われるよう尽力してまいります。

改めまして、今年度の委員会運営への多くのご協力誠にありがとうございました。



地区 VTT・グローバル委員会

委員長

大川 武志

(恵庭 RC)

2025-26 年度地区 VTT・グローバル委員会委員長を務めさせていただきました恵庭 RC の大川武志です。先ず初めに、今年度の活動を支えてくれた委員会の皆様と当委員会の活動を温かく見守ってくださった第 2510 地区の会員の皆様に感謝申し上げます。

当地区は、出村知佳子 PG と地区国際奉仕委員会が中心となりタイ王国第 3340 地区で長年にわたり国際奉仕事業を行って参りました。今年度は、そのタイ王国第 3340 地区を実施国とした環境グローバル補助金事業の視察と今後の対象地域拡大に向けての準備を行いました。2025 年 9 月 28 日から委員会メンバー 4 名を含む総勢 16 名でグローバルグラントツアーを開催し、タイ王国ノンカイ市の視察とラオスを訪問し現地ロータリアンと打ち合わせをしてまいりました。また、2026 年 1 月 8 日から当地区ローターアクターを中心にタイ王国ノンカイ市を中心とした 150 名程度の子供達にゴミの分別等を教える環境教育も実施しました。

今後は、この環境グローバル補助金事業の考察と対象地域拡大に向けての取組が必要だと感じております。私は 2025-26 年度で退任いたしますが、引き続き当委員会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



地区ポリオプラス委員会

委員長

志田 勇人

(札幌南 RC)

「今年度終了の挨拶」

今年度を無事に終えることができましたのは、ポリオプラス委員の皆様、私が所属する札幌南 RC の皆様、そして第 2510 地区の皆様より賜りました温かいご支援とご協力の賜物です。心より御礼申し上げます。

この一年を振り返りますと、「フェスタつきさっぷ」や「平岸マルシェ」での募金活動、函館で開催された地区大会での募金など、数多くの貴重な取り組みを実施することができました。いずれの活動も、多くの皆様のお力添えがあってこそ成し得たものであり、改めて深く感謝申し上げます。

次年度は、常在国 2 か国における感染者数のさらなる根絶を目指し、募金活動の一層の強化に加え、ポリオデーに合わせた新たなイベントにも取り組んでまいりたいと考えております。また、PPS（ポリオプラス・ソサイエティ）登録者のさらなる増加も重要な目標として推進していく所存です。

昨年度は、皆様より多くのご寄付を賜りました。この大きな一歩を、次年度のさらなる成果へと確実につなげてまいります。2026-27 年度は、新たに札幌 RC の丹羽祐勝先生を委員長にお迎えし、私は副委員長として丹羽先生をしっかりとお支えしながら、委員会運営に尽力してまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



地区財団資金推進委員会

委員長

黒川 篤

(札幌北 RC)

2025-26 年度は資金推進と大口寄付を同時に担当させていただきました。

主な活動内容は、財団セミナーにて財団の基金プログラムである年次基金と恒久基金の違いや必要性和ポール・ハリス・ソサイエティ（PHS）のご紹介について、また認証プログラムのメジャー・ドナー（MD）ポール・ハリス・フェロー（PHF）、マルチプル・ポール・ハリスフェロー（MPHF）アーチ・クランフ・ソサイエティ（AKS）や冠名基金、大口寄付並びに法人寄付ご参加いただいた会員の皆様へ説明とご案内をさせていただきました。

資金管理セミナーでは、各クラブの寄付実績やメジャードナー（MD）やアーチ・クランフ・ソサイエティ（AKS）・冠名基金のご報告をいたしました。残念ながら本年度はポール・ハリス・ソサイエティ（PHS）が減少となりアピールの足りなさを痛感いたしました。多くの会員の皆様に財団の有用性をご理解いただきご寄付いただきたいと存じます。



地区米山記念奨学・学友委員会

委員長

三浦 信一

(札幌清田 RC)

米山委員会委員長の三浦信一です。

皆様の日頃の米山奨学金制度への御理解と御協力に心より感謝致します。

委員長に就任し、一年が経過しました。その間、新奨学生採用選考面接、世話クラブ依頼、修了式、新奨学生オリエンテーションを経て、20 名の奨学生が各世話クラブ・カウンセラー様の支援を受け学んでいます。現在は 2027 学年度奨学生採用面接に向けての活動に尽力しています。

米山奨学金制度は、皆様のご尽力により 70 余年の歴史をもって現在に至っていますが、一方でこの制度に対し多様な意見・見解があることを私共米山委員会は承知してお

ります。それは 70 余年の歴史の流れに伴う様々な国内外の変化の結果であり、私共米山委員会はそれらを真摯に受けてとめております。現在、この制度はその運用面において変更が検討されています。その変更が実施された場合、この制度にどのような影響を与えるのか。制度運用に多様性が生じる位なのか、それとも抜本的パラダイムシフトとでも言うべき変革になるのかは分かりません。将来、どのような変化変革が生じたとしても、この制度の歴史と実績を損なうこと無きよう米山委員会は努めて行きたいと思えます。



地区ローターアクト支援委員会

委員長 **齋藤 聡**
(岩見沢 RC)

今年度は、計画外を含む多くの事業に積極的に取り組み、非常に充実した一年となりました。室蘭工場見学、タイ・ラオス VTT 検証ツアー、ピースユースサミット開催、北海道ラーニングセミナー第 2500 地区と合同で初開催、ポリオ・グローバル補助金勉強会、ポリオ募金活動、北海道交流会、世界大会での事例発表など、環境保全、平和推進、青少年育成を中心とした幅広い奉仕活動を展開しました。特にタイ・ラオスでのリサイクル啓発活動や全国 RAC・世界大会での事例発表は高い評価を受け、第 2510 地区の取り組みを国内外へ発信する大きな成果となりました。これらの活動は会員一人ひとりの協力と情熱によって実現したものです。今後は、これまで築き上げた実績を基盤としながら、継続性のある持続可能な奉仕活動を推進するとともに、限られた予算の中で安定した事業運営を行うため、効果的な資金調達や協力体制の強化が重要な課題となります。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げ報告とさせていただきます。



地区 RLI 委員会

委員長 **平川 香織**
(札幌手稲 RC)

「多くの出会いに感謝！」

RLI に関わらせていただいたきっかけは、2017-2018 年度国立金助ガバナー年度の立ち上げ活動です。前委員長の渡邊葉子会員にお誘いいただき、何もわからないまま第 2790 地区（千葉）の RLI セミナーに見学参加させていただいたことが懐かしいです。翌年の小山司ガバナー年度に正式に RLI 日本支部に加盟し、当地区への導入となりました。2022-2023 年度より RLI 委員長を務めさせていただくこととなりましたが、概ね委員会態勢を作っていただいた状態で引き継がせていただいたことに感謝申し上げます。

当地区の RLI はセミナー運営と広報・管理を行う RLI 委員会と、ファシリテーターのスキルアップと新ファシリテーター育成を行うファシリテーター委員会が共に活動を行っております。導入 2 年目からコロナ感染防止によって全セミナーオンライン開催を行ってまいりましたが、検討を重ねた結果、2024-2025 年度は一つのパートだけリアル開催を行うことに踏み切りました。そして、今年度は 2 つのパートをリアル開催いたしましたが大変好評を得ることができました。しかし、広い北海道ではすべてをリアルで行うには参加者もファシリテーターも運営も時間的・金銭的負担が多いため、今後の大きな課題でもあります。

当初はセミナーの各セッションの進行役をディスカッションリーダー（DL）と呼んでおりましたが、ファシリテーター（FT）と呼び名も変わり、RI 自体が参加型を重視したファシリテーション方式によるセミナーや会合を推進し、トレーニングからラーニングへと移行してまいりました。それは、まだ周知されていない当地区の RLI にとっては追い風でもありました。初代ディスカッションリーダーから始まり、毎年度多くの方々がファシリテーターをお受けくださり、共にたくさんの研修を重ねてまいりましたことはかけがえのない体験となりました。ファシリテーターの研修は実践に慣れることが一番なのでファシリテーターの皆様には大変ご苦勞をおかけしております。深く深く感謝申し上げます。Zoom によるオンライン開催はテクニカルサポートが重要で、当初は委員会メンバーが行ってきただけですが、将来を考え、地区 ICT 委員会との協力体制を組むことといたしました。それによってテクニカルの部分で更なるスキルアップとなりました。

今年度第 7 期を終え、延べ 900 名弱の方々が受講され、全パートを修了された方は約 220 名、ファシリテーター経験者は 70 名を越えるに至りました。それぞれのクラブに、セミナーを修了され、ロータリーに関する知識と他クラブの方と知り合い、その活動を知ることの楽しさを知った方が増え、リーダーシップを発揮されることでクラブ活性化につながることを強く願っております。

2026-2027 年度からは、同委員会メンバーとして支えていただいた日浅尚子会員（札幌 RC）が就任されます。とても優秀でガッツのある方なのでこれからの当地区の RLI をさらに発展・充実されることと思います。

不行き届きでむちゃぶりの多い私を 4 年間に渡り支えていただき、委員会の皆様、ファシリテーターの皆様、地区役員の皆様、そして、優しく時には厳しくご指導いただきました RLI 地区代表委員の小山司 PG と福井敬悟 PG、多くの出会いに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



第1グループIM報告

国際ロータリー第2510地区2025-2026年度
第1グループガバナー補佐

竹内 秀樹 (羽幌 RC)

第1グループのIM（都市連合会）の報告いたします。
2025年5月16日にクラブ同士親睦を図るためにゴルフ大会を実施。翌日12時から会長・幹事会を実施いたしました。

この時期ですので、クラブ内での悩み事について報告を受けました。解決策について皆様からご意見を出してもらい、クラブに持ち帰り、各クラブ内で話し合い解決に向けていく方向で検討してくださいとお願いをし、後日結果を聞かせてくださいと述べ会長・幹事会を終了しました。

本会議は、玉井清治ガバナーと奥様。またご来賓で羽幌町町長の森淳様にもご出席いただきました。森町長においては、羽幌RCのメンバーでもあり、ご祝辞も頂きました。参加クラブを紹介し、深川RC、伊藤会長以下28名の会員。留萌RC、青山会長以下23名の会員。羽幌RC、小川原会長以下30名の会員登録と参加人数は総勢55名の中、開催いたしました。

ガバナーに講演をしていただき、また各クラブの現況報告を発表していただき、最後にはガバナーに総評を頂きました。

続いて懇親会を開催し、羽幌の特産物が提供され、参加者全員に喜ばれ終始和やかに会員皆様が満足したIMとなりました。

改めて第1グループ結束を感じると共に郡部の人口減少を感じるのと、各クラブの高齢化が進んでいるのが現状なのだと理解することとなりました。これから各クラブの会員の維持をどの様にしていくか、早く手を打たなくてはならないと思いました。





第 7 期 RLI セミナーを終えて

国際ロータリー第 2510 地区
RLI 委員会

委員長

平川 香織
(札幌手稲 RC)

2025-2026 年度は、「第 7 期 RLI セミナー」として、パート I (2025.10/19 リアル開催)・パート II (2026.3/1 オンライン開催)・パート III (2026.4/26 オンライン開催) と卒後コース (2026.5/10 リアル開催) を開催し、多くの皆様にご参加、またご協力をいただき、無事終えることができました。延べ 94 名が参加され、18 名の方が全パートを修了されました。

当地区で RLI を導入したのは、2017-2018 年度国立金助ガバナー年度に立ち上げ活動として体験セミナーを行い、翌 2018-2019 年度小山司ガバナーによって正式導入、初めて「第 1 回 RLI セミナー」を開催して以来、7 年が経ちました。酒井正人パストガバナーはじめ、多くのパストガバナーの RLI への理解と熱意のおかげで支えられ、現在は福井敬悟パストガバナーが豊富な知識と明るいお人柄で、RLI 地区代表委員として当地区の RLI 活動を率いてくださっております。当初は、セミナーのセッションの進行役であるファシリテーター（当時はディスカッションリーダー）もいなく、活動を行っていた他地区に赴き、セミナーに参加し訓練し、第 1 回を迎え、活動してまいりましたが、現在は、そのファシリテーターも経験者は 70 名を越え、セミナー参加者も述べ 860 名を越えました。

セミナーやクラブ訪問の際の卓話でも申し上げてまいりましたが、RLI セミナーは一方的に先生や講師といった方の話を聞いて学ぶ勉強会とは違います。様々なクラブの方々が集まり、少人数のチームで、共通のテキストをもとに色々なテーマで学び、話し合う参加者参加型スタイルです。今の自分の状態で、自身の経験から考えや思いを言葉にして発する、他の方々の発言を聴く、そこから自身で学んでいきます。ただ聞くスタイルの学習率が 5% に対して、RLI のようなグループディスカッションは 50% の確立で学習できます。そのため、近年では教育現場やビジネスでも、情報や知識を一方的に与えられるトレーニング（研修）から、スキルや能力を向上させるために情報を自身が吸収するラーニング（学習・学び）に学習文化は変わってきており、ロータリーでも全面的に移行してきております。発言することは、自身の考えを明確にすることができ、また責任感や覇気が生まれます。ロータリーに関する知識と他クラブの活動を知ることの楽しさ、多くの方々と知り合える喜びを得られる素晴らしいセミナーです。セミナー体験者がクラブに増えることは、それだけで活性化の条件の一つとなると思います。ロータリアンとして、この特典を是非活かして、次年度も多くの方々に体験してもらいたいと思います。

第 7 期 RLI セミナー参加者の皆様、一年間ファシリテーターをお努めいただきました皆様、心より感謝申し上げます。



「国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト第 53 回地区年次大会」 ならびに「赤平ローターアクトクラブ設立 50 周年記念式典」報告

国際ロータリー第 2510 地区
赤平ローターアクトクラブ

会長

伊達大智



2026 年 5 月 30 日、岩見沢市において「国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト第 53 回地区年次大会」ならびに「赤平ローターアクトクラブ設立 50 周年記念式典」を開催いたしました。多くのロータリアン、ローターアクトの皆様にご参加いただき、盛会のうちに終えることができましたことを心より御礼申し上げます。

本年度の地区ローターアクトでは「グローバル」を重点テーマに掲げ、国際奉仕活動への参加を推進してまいりました。その象徴的な取り組みとして、「Global Grant 2123767 ～ Save Mekong River～」に地区内のローターアクト 10 名が参加し、タイにおいて環境教育活動やリサイクル活動を実施いたしました。メコン川流域の環境問題という国際的な課題に対し、現地の子どもたちや地域住民とともに行動することで、奉仕を通じた国際理解の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

こうした活動を踏まえ、本大会では「身近なセカイ」をテーマに掲げました。世界で起きている課題や国際奉仕は決して遠い存在ではなく、一人ひとりの行動や出会いによって身近なものとなることを、参加者の皆様と共有する機会としたいとの思いを込めたものです。

大会では、「Save Mekong River」の活動報告に加え、国際ロータリー第 1 地域の新井和雄ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）をお迎えし、「ロータリー財団とローターアクトの可能性」と題した基調講演ならびにトークセッションを行いました。「Save Mekong River」参加者が自身の経験をもとに国際奉仕の意義や可能性について語り、新井 RRFC との対話を通じて、参加者それぞれがローターアクトの未来や自身の可能性について考える機会となりました。

また、本大会に併せて赤平ローターアクトクラブ設立 50 周年記念式典を開催いたしました。1976 年の創立以来、多くの先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統を振り返るとともに、その歩みを支えてくださったすべての皆様への感謝をお伝えする機会となりました。半世紀にわたり受け継がれてきた「奉仕の精神」と「つながり」を次世代へ継承し、未来へ向けた新たな一步を踏み出す節目の式典となりました。

大会の最後には、佐藤大河地区ローターアクト代表エレクトより、次年度の地区ローターアクトについて、「Glocary（グローカリー）」をテーマとして掲げることが発表されました。「Global × Hokkaido Local × Rotary」の理念のもと、地域と世界をつなぐ奉仕活動を通じて、新たな価値と可能性を創造していく方針が示されました。

今回の地区年次大会と 50 周年記念式典は、世界と地域のつながりを再認識するとともに、先人たちから受け継いだ歴史を未来へつないでいく決意を新たにすることができました。今後も第 2510 地区ローターアクト一同、「地域と世界の未来をつくる」という想いを胸に、さらなる成長と発展に努めてまいります。



— グローカリー —
Global × Hokkaido Local × Rotary

つなぐ想いが、地域と世界の未来をつくる。



Global (グローバル)
世界とつながり、
新たな価値と可能性を創る



Hokkaido Local (ローカル・北海道)
北海道の豊かな自然・資源・人を活かす、
地域に根ざした活動を推進する



Rotary (ロータリー)
奉仕の心でつながり、
持続可能な社会の実現に貢献する



地区現新ガバナー補佐引継会議を終えて

国際ロータリー第 2510 地区
地区代表幹事

岩川 信子 (函館亀田 RC)

初夏の爽やかな風が心地よい 6 月 21 日、札幌グランドホテルにおいて「地区現新ガバナー補佐引継会議」を開催いたしました。

今年度は、各委員会の引継ぎをそれぞれの委員会単位で実施したことにより、この日の会議はガバナー補佐の引継ぎに特化したプログラムといたしました。限られた時間を有効に活用し、「タイムパフォーマンス」を重視した新しい運営スタイルへの挑戦でもありましたが、結果として大変充実した、有意義な会議となりました。

冒頭、玉井清治ガバナーより、この一年間への感謝と次年度への期待を込めたご挨拶をいただき、続いて武部幸紀次期地区代表幹事から、次年度ガバナー補佐の皆様が紹介されました。その後、それぞれのグループごとに現ガバナー補佐と次期ガバナー補佐が引継ぎを行い、活動内容や課題、今後の方向性について熱心に意見を交わしました。

特に印象的だったのは、現ガバナー補佐の皆様による活動報告です。この一年間、それぞれの地域でクラブに寄り添い、悩みを共有しながら歩んできた経験が語られ、その一つひとつに重みと説得力がありました。成功事例だけではなく、課題や改善点も率直に伝えられたことで、その経験は次年度へと受け継がれる大切な財産となりました。

また、次期ガバナー補佐の皆様からは、「こんなグループにしたい」「クラブの力をもっと引き出したい」「地区との橋渡し役として挑戦したい」など、前向きで意欲あふれる発言が次々と飛び交いました。その姿からは、新しい年度への期待と責任感が強く感じられ、会場全体が明るい活気に包まれました。

さらに、地区ラーニング委員会アドバイザーの嵯峨義輝パストガバナーからは、豊富な経験に裏打ちされた温かく力強い激励のお言葉をいただき、次期ガバナー補佐の皆様も真剣な表情で耳を傾けておられました。そして最後に、古野重幸ガバナーエレクトから閉会のご挨拶をいただき、希望に満ちた雰囲気の中で会議を締めくくることができました。

引き続き開催された地区役員合同懇親会では、地区の委員長にもご参加いただき、現年度と次年度の役員が和やかに交流し、立場を超えて語り合う姿があらこちらで見られました。笑顔の中にも、新年度への決意と期待が感じられる、たいへん有意義な時間となりました。

今回の引継会議では、「短時間でも中身の濃い会議は実現できる」ということを改めて実感いたしました。そして何より、現ガバナー補佐の皆様が築いてくださった一年間の歩みと、それを受け継ぐ次期ガバナー補佐の皆様の熱意がしっかりと結び付いたことが、この会議最大の成果であったと感じています。新たな一年が、地区とクラブ、そしてロータリアン一人ひとりにとって実り多い年度となることを心より願っております。





地区新会員研修セミナー実施報告書

国際ロータリー第 2510 地区
新会員研修委員会

委員長

松永 英樹
(室蘭東 RC)

今年度、新会員研修委員会では入会間もない会員や、改めてロータリーについて学びたい会員を対象に、ロータリーの理念や基本的な知識を学ぶ事で、今後のロータリー活動がより充実したものになるようにセミナーを開催いたしました。

近年、世界のロータリー会員数は横ばいで、毎年、新規入会者と同数の会員が退会し、退会者の 70% は入会 5 年未満の会員とされています。こうした状況の背景には、新会員がロータリーを十分理解しないまま活動していることも一因ではないかと考え、新会員が必要な知識や情報を習得し、理解不足による退会防止につながるセミナーを目指しました。

玉井ガバナーの「より多くの会員に研修の機会を提供したい」という強い思いから、参加しやすいように地区内 4 か所で、時間や準備の効率化から IM 前の時間を使わせていただくなど、各地ガバナー補佐の皆様、クラブのご協力をいただき開催しました。

3 月 14 日（土）の函館会場を皮切りに、3 月 28 日（土）岩見沢会場、4 月 4 日（土）札幌会場、5 月 24 日（日）苫小牧会場の 4 か所で開催し、129 名の会員に受講してもらいました。

研修では、玉井ガバナーによる講演「ロータリーとは」で理念や歴史を、福井ラーニングファシリテーター（PG）による講演「ロータリーの基本」で実践的な基礎知識を学んでもらい、その後のワークショップでは参加者同士が意見交換して、ロータリーへの理解を深める機会といたしました。

各会場で受講者の皆さんに参加した感想や改善点などを回答してもらうアンケートを実施し、「セミナーは意義があった」「内容がとても良かった」との回答を多数いただき今年度の取り組みは高評価だったようです。自由記述では、「ロータリーについて分かりやすく理解できた」「他クラブの活動を知ることができた」など、肯定的な意見が多く寄せられ、また運営や内容に関する改善提案もあり、今後の研修内容の充実に生かしていきたいと思えます。

セミナーの成果としては 4 会場で 128 名に受講いただき、アンケート結果からも新会員がロータリーへの理解を深め、今後の活動への意欲を高める機会になったと思います。今後も参加しやすい研修、会員の定着と資質向上につながる事業として発展させていきたいと考えています。研修セミナー開催にご尽力いただいた玉井ガバナーをはじめ委員会の皆様、協力をいただいたクラブ、ガバナー補佐の皆様に感謝申し上げます。



函館会場



札幌会場



苫小牧会場



「札幌北 RC 創立 55 周年記念式典・懇親会」報告

第 4 グループ

札幌北ロータリークラブ 実行委員長

姫野 芳安

2026 年 5 月 18 日、グランドメルキュール札幌大通公園にて、札幌北 RC 創立 55 周年記念式典・懇親会を、約 90 名の皆様のご臨席のもと、無事盛会に開催することができました。

水野功 RI 理事、玉井清治ガバナーをはじめ、本当に沢山のご来賓の皆様にご出席を賜り、クラブ一同、心より感謝申し上げます。

55 周年という節目を迎え、改めて感じたのは、札幌北 RC が多くの方々とのご縁と支えの中で歩んできたということでした。

式典では、地域社会への感謝と未来への責任を込め、地域の医療従事者育成支援、北海道医療大学への支援、そして地区ローターアクトへの支援金贈呈を行わせていただきました。

若い世代が学び、成長し、地域へ、世界へ羽ばたいていくこと。

それを応援し続けることも、ロータリーの大切な使命のひとつだと感じています。

また、祝賀会では、岩本七音（なおと）さんによる素晴らしいピアノ演奏が披露されました。

繊細でありながら力強い音色が会場を包み込み、会場全体が静かに聴き入る、本当に美しい時間となりました。

そして後半は、札幌北 RC らしい、温かく、笑顔あふれる懇親の時間へ。

最後は「YMCA」で、世代を超えて笑顔と手に手をつなぎ、会場がひとつになりました。

長年クラブを支えてこられた先輩方、現役で活動を牽引される会員の皆様、ローターアクトの若い仲間たち、そしてご家族、ご来賓の皆様。立場や世代を超えて、同じ時間を共有し、同じ歌に合わせて笑い合う光景は、まさにロータリーの原点のようにも感じました。

「奉仕」を通じて人と人がつながり、そのつながりが地域を温かくしていく。

55 年という歴史は、決して一人では築けないものです。先輩方から受け継いだ想いを次の世代へ。地域と共に、仲間と共に、これからも歩み続けてまいります。

運営をサポートいただきました、「友と共に」を掲げる鈴木隆也会長のメッセージのもと、実行委員長姫野芳安を中心に、チーム北クラブ一丸となって開催することができました。

準備段階から当日の運営までご尽力いただいた全ての皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

ご参加いただきました皆様、開催にあたりご尽力いただきました全ての皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

これからも札幌北 RC を、どうぞよろしくお願いいたします。





「当別 RC 創立 50 周年記念式典・祝賀会」報告

第3グループ
当別ロータリークラブ

会長 宮司 正毅

当別 RC は 1976 年 4 月 6 日午後 6 時、チャーターメンバー 22 名の参加の下で、点鐘の音が会場に鳴り響き、厳粛な雰囲気の中で、産声を上げました。以来、親クラブである札幌北 RC の手厚いご指導や近隣友好 RC の皆様の温かい友情を賜りながら、会員一人一人が研鑽に励み、活発な奉仕活動を積み重ね、輪を広げることに邁進してきた結果、創立 50 周年を迎えることが出来ました。

5 月 20 日に当別町田西会館において開催した記念式典・祝賀会には、玉井清治ガバナーご夫妻、安孫子建雄パストガバナー、嵯峨義輝パストガバナー、近隣 RC の皆様、加えて宮城県大崎市岩出山 RC の皆様、等々総勢 72 名のご参加を頂きました。

来賓には、後藤正洋当別町長並びに、当別町の生みの親であります大崎市（岩出山）より、中島市長・伊東前市長のご臨席を賜り、花を添えて下さいました。

記念式典は、点鐘に先立って、岩出山 RC 会員らの謡曲のご披露があり、なごやかな雰囲気を醸し出してくれました。

点鐘・国歌・ロータリーソングの後、物故会員の追悼、歴代会長・幹事への記念品贈呈、100%出席者表彰等々のセレモニーを経て、ご来賓のご挨拶を頂き、厳粛ながら、柔らかい雰囲気の中で式典が終了しました。

祝賀会は、パストガバナーの乾杯の音頭やテーブルスピーチの後、アトラクションとして、当別町出身でシンガーソングライターとしてご活躍中の“Rihwa” 歌手のパワフルな歌声が披露され、大変盛り上がりを見せました。

祝宴の終盤には恒例のロータリーソング「手に手つないで」を、最後に西方洋昭ガバナー補佐の万歳三唱で締め括ることとなりました。

創立 50 周年式典・祝賀会にご参加下さいました玉井ガバナーを始めとする皆様に衷心より感謝を申し上げ、報告と致します。





「余市 RC 創立 65 周年記念式典・祝賀会」報告

第 6 グループ
余市ロータリークラブ

会長 笹浪 淳史



さる、2026 年 6 月 13 日、たくさんのロータリアンの温かい友情とご協力によりまして余市 RC 創立 65 周年記念式典を盛大に開催することができました。ご出席頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。

当クラブは 1961 年 5 月 29 日に小樽 RC をスポンサークラブとしてとして発足。創立時より障がい者支援施設の支援や、ロータリー財団海外研究者の受け入れ、交通安全検問所の寄贈、少年少女水泳大会、サマージャンプ大会など様々な事業に取り組んでまいりました。

現在は 39 名（うち女性メンバー 4 名）が在籍、クラブの特徴としましては、世代間の壁、分け隔てがなく、会員同士和気藹々としたクラブであります。今回の周年事業に関しましても、実行委員会をいち早く組織し、若手からベテランまで、それぞれ与えられた立場で責任を持って取り組み、当日を迎えることができました。

記念式典では、「余市らしさを」ということで、ウイスキーを通じて余市とゆかりのあるスコットランドの伝統楽器バグパイプによる演奏をオープニングとして行い、さらに 65 周年記念事業紹介では、余市町円山公園内の電波時計の改修更新事業、姉妹クラブとのりんごの苗木植樹事業のなどについても経緯や経過説明を行い、クラブの未来を形作るための大きな機会となりました。また、今回の式典、祝賀会には日頃からご支援いただいている自治体首長をはじめ、地域各団体のほか、姉妹クラブである会津若松城南 RC、友好クラブである岡崎城南 RC、第 6 グループ近隣各地クラブの多くのロータリアンにご出席いただき、花を添えていただきました

式典、祝賀会翌日は、今回お祝いに駆けつけてくださった会津若松城南 RC、岡崎城南 RC の皆様に余市の良さを体感していただくため、世界に通用する日本ワインの銘醸地として急成長し続ける余市、仁木両町のワイナリーの工場見学を行い、新緑の風薫る爽やかな天気のもと、地域産のワインや旬の味覚を堪能していただき、クラブの友情を深めました。

創立 65 周年を契機として、今後も地域に根付いたロータリー活動を続けるとともに、多くの皆様の友情とご支援により、さらに一歩ずつ歴史を刻み込み、前進してまいります。引き続き、当クラブへのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。





「札幌南 RC 創立 70 周年記念式典・祝賀会」報告

第 5 グループ
札幌南ロータリークラブ

会長 **荒井 竜一**

6 月 22 日（月）当クラブ創立 70 周年記念式典・祝賀会が札幌パークホテルで盛大に執り行われました。当日は札幌市の山本副市長様をはじめ、国際ロータリー第 2510 地区玉井ガバナーならびに歴代パストガバナーの皆様、地区役員の皆様にご臨席を賜り、また、遠方からは姉妹クラブの東京東 RC、友好クラブの那覇南 RC の皆様、そして、札幌市内及び江別市の各 RC の会長・幹事の皆様に当クラブの会員 72 名とご家族などを含め、総勢 124 名の大勢のロータリアンの皆様にお集まりをいただきました。



記念式典では、山上幹事の進行により、来賓のご祝辞をいただいた後、各種表彰が行われました。永年連続 100%出席会員表彰では、38 年連続出席の北島会員をはじめ 28 名の会員が表彰され、また 65 ～ 69 代の会長・幹事には感謝状と記念品が授与されました。井樫副会長からは、70 周年記念事業の発表があり、今回の中島公園への記念植樹に対し、札幌市の山本副市長より感謝状の贈呈がありました。

記念講演では北海道日本ハムファイターズの小村社長をお招きし、「ファイターズの挑戦」と題して、常に新たな挑戦を続けるファイターズの取組みについて、経営者としてのヒントを数多くいただく貴重なご講演をいただきました。

祝賀会では、武部パストガバナーの歓迎挨拶の後、姉妹クラブである東京東 RC の鳴海会長の祝杯で開宴。今回のお料理について札幌パークホテルの吉田総料理長、当クラブの中道会員より詳しい紹介があり、普段では味わうことが出来ない素晴らしいお料理の数々を楽しみました。アトラクションでは、札幌メンバーによる弦楽四重奏の美しい音色に会場は一瞬で引き込まれ、アンコールでは手拍子で盛り上がりました。最後に記念行事運営委員長の財部副会長より心のこもった御礼の挨拶があった後、「手に手つないで」を全員で大きな輪になって合唱し、閉会となりました。





2026 台北国際大会 報告

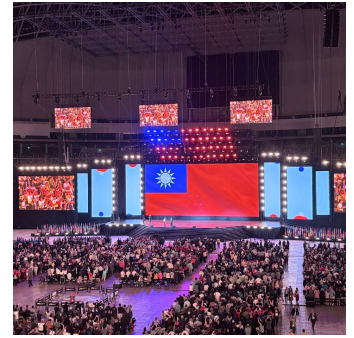
国際ロータリー第 2510 地区
国際大会推進委員会

副委員長

斎藤 仁
(小樽南 RC)

2026 年 6 月 13 日から 17 日の 5 日間の期間で、国際ロータリー 2026 台北国際大会が開催されました。当地区の出村知佳子 PG が台北国際大会推進チームメンバーという事もあり、本地区としても登録数向上に尽力させていただきました。

国際大会の主要会場は、台湾プロ野球のシンボルスタジアムとして名高い「台北ドーム」。ここはキャパ 4 万人の大きなドーム球場で、コンサートにも使われている多目的スタジアム。2 日目の 6 月 14 日(日)に開会式が行われました。安全上の問題として、登録者を半分に、午前の部、午後の部と 2 部に分かれての開催となり、私たちは午後 3 時からの部に参加させていただきました。



開会式では RI に参加している 180 を超える国と地域が、スタッフの掲げる国旗と共にアルファベット順に紹介された。なんとロシア、中国にも RC があるとの事、国名アナウンスでは参加各国が、それぞれに大きく声を出しアピールしていました。「JAPAN」のコールではドーム球場観客席のあちこちに点在して座っていた日本の仲間たちが、大きく立ち上がり「オー」「ヤー」の掛け声で大いに盛り上がっていました。さすが登録数世界第 2 位の日本でありました。また、戦時下のウクライナが紹介されると、他国のロータリアンたちも立ち上がり大きな盛り上がりを見せました。

最後に紹介されたのは地元「台湾」。台湾国旗と「TAIWAN」というコールに会場中が割れんばかりの歓声と拍手に包まれた。オリンピック等主要国際大会では世界政治の思惑により「チャイニーズタイペイ」と紹介されるのが通例であるのはご存じのとおり。しかし、国際ロータリーではしっかりと「台湾・TAIWAN」と表記、紹介していました。

私たち、小樽南 RC のメンバー 7 名は、開会式の夜に開催される「地区ナイト」準備のため、午後 4 時過ぎには台北ドームをあとにしました。会場の「リージェント台北」は市内でも有数の五つ星ホテルの一つとして名高いところです。



午後 6 時から、ウェルカムドリンクで皆様をお迎えし、地区ナイトとしては過去最多となる約 100 名の方々にご参加いただきました。開会后すぐに、千歳セントラル RC 桑島昌子会長エレクトに、国歌「君が代」独唱していただき、厳粛に懇親会はスタートしました。

松浦 RI 国際大会推進委員長(PG)の代理として、私斎藤仁が松浦 PG からのメッセージをご披露させていただきました。玉井ガバナーのご挨拶と乾杯の音頭で開宴し、本場の高級中華料理を満喫させていただきました。

途中、ご参加いただいた 19 クラブの代表者から、各 2 分以内のクラブ紹介を実施。さらに、ご出席いただいた嵯峨 PG、福井 PG、松浦 PG、玉井 G、古野 GE、齋藤 GN から金一封をいただき、参加者の皆様には推進委員会が用意した「高級お土産」が当たる抽選会を実施。ガバナーの皆様のユーモア溢れるスピーチとともに会場は、大いに盛り上がり、歓声、拍手の坩堝と化していました。

最後、中締めのおいさつは、古野 GE が登壇。
「今日は玉井ガバナーのご苦労さん会です。本当に一年間ご苦労様でした。
そして何より奥さまが一生懸命玉井ガバナーを支えていました・・・」
古野 GE のねぎらいの言葉に玉井ガバナーご夫妻は目頭を熱くさせていました。
地区メンバーによる台北の夜は、暑く楽しく更けていきました。



ガバナーノミニー決定宣言

2028-2029 年度国際ロータリー第 2510 地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より平昌夫君（札幌南 RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第 12 条 [12.020. ガバナー選出手続] に基づき、平昌夫君を 2028-2029 年度第 2510 地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第 2510 地区

2025-2026 年度ガバナー 玉井清治（函館亀田 RC）

2028-2029 年度ガバナーノミニー



たいら まさお

平 昌夫（札幌南ロータリークラブ）

生年月日：1960 年 2 月 21 日 生

職業分類：木製品製造

日新インテック株式会社

【ロータリー歴】

ク ラ ブ

1998 年	2 月入会
2006-2007 年度	クラブ幹事
2019-2020 年度	クラブ会長

地 区

2001-2002 年度	地区副幹事
2003-2004 年度	オン・ツー・大阪委員
2009-2010 年度	地区クラブ奉仕委員
2012-2013 年度	地区補助金委員
2013-2014 年度	地区財団資金管理委員
2014-2015 年度	地区財団資金管理副委員長
2015-2016 年度	地区ロータリー財団委員
2016-2017 年度	地区副代表幹事
2022-2023 年度	第 5 グループガバナー補佐

【その他】

ロータリー財団	メジャードナー
米山記念奨学会	第 6 回米山功労者

令和 7 年青森県東方沖地震 義捐金報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました、2025 年 12 月 8 日に発生した青森県東方沖地震に対する義捐金について、下記 36 クラブから 1,094,529 円を頂戴致しました。
災害地域を管轄する第 2830 地区の義捐金口座にお振込みを致しましたのでご報告申し上げます。
皆様の温かいご支援ありがとうございました。

深川 RC、留萌 RC、赤平 RC、芦別 RC、滝川 RC、江別 RC、岩見沢 RC、岩見沢東 RC、
当別 RC、札幌 RC、札幌北 RC、札幌モーニング RC、札幌西 RC、札幌西北 RC、
札幌東 RC、札幌清田 RC、札幌真駒内 RC、札幌南 RC、新札幌 RC、小樽 RC、千歳 RC、
千歳セントラル RC、恵庭 RC、北広島 RC、長沼 RC、えりも RC、三石 RC、静内 RC、
浦河 RC、伊達 RC、室蘭北 RC、登別 RC、森 RC、江差 RC、白老 RC、苫小牧 RC

新会員のご紹介

(敬称略)

滝川 RC



田中 義万

令和 8 年 4 月 9 日
金融業

滝川 RC



伊藤 公一

令和 8 年 5 月 21 日
農業

※入会順

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。



岡崎 進 会員（千歳 RC）

逝去日：2026 年 6 月 3 日（76 歳）

ロータリー歴： 2015 年 1 月 入会

委員長歴： 出席資料管理委員会、健康委員会、
SAA・プログラム委員会、国際奉仕委員会



武石 忠俊 会員（千歳 RC）

逝去日：2026 年 6 月 26 日（92 歳）

ロータリー歴： 1978 年 2 月 入会
1987 ～ 88 年度 会長
1980 ～ 81 年度 幹事
2019 ～ 20 年度 地区代表幹事

委員長歴： 会員増強委員会、米山奨学委員会、プログラム委員会、
ロータリー情報委員会 他

表彰関係： ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2)



浅水 勝男 会員（伊達 RC）

逝去日：2026 年 6 月 29 日

ロータリー歴： 24 年
2013 ～ 14 年度 会長
2005 ～ 06 年度 幹事



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol. 315

2026年6月10日
発行

1 第2610地区学友会 創立20周年「新たな一步」

第2610地区米山学友会の創立20周年記念式典が5月16日に開催されました。

記念式典には、地区内のガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・パストガバナーをはじめ、地区米山委員長・委員、カウンセラー、現役奨学生・学友と、地区を挙げての集まりとなりました。また、国内5地区の米山学友会代表者も集結し、参加した約80人が節目を祝いました。

式典では、20年の歩みの紹介や表彰が行われたほか、記念講演として輪島塗の田谷漆器店代表の田谷昂大氏が登壇。家業の被災体験と能登復興への熱い思いを語り、会場は深い感動に包まれました。翌日はバスで能登へ移動し、復興支援活動を実施。七尾RCから心の復興に焦点を当てた支援活動の紹介を受けた後、穴水町の千手院にて能登キリシマツツジの苗木57本の植栽を行いました。その後、お堂の中で琴の演奏を聴きながら抹茶のおもてなしを受け、奨学生の感謝のスピーチが全員の胸を打ちました。



同地区学友会の範雋偉会長（2015-17／小矢部RC）は、「米山学友、ロータリー会員、関係者相互の絆を一層深めるとともに、

能登復興への思いを共有し、次の未来へ向けた新たな一步となる大変有意義な機会となりました」と述べ、地区一丸となって奉仕の絆を深めた一同は、今回の節目を契機として、2028年に同地区で開催予定の「米山学友による世界大会」の成功へ向けて、さらに学友会活動を盛り上げていくことを誓い合い、2日間の充実したプログラムを締めくくりました。



苗木の植栽をする参加者たち

2 米山学友からの高額寄付「優秀な学生たちのために」

中国出身の米山学友で、東京赤坂RC会員の千葉鴻儀さん（1990-91／熊本グリーンRC）が、優秀な学生たちを支援したい、との思いから500万円の寄付をしてくださいました。そのメッセージをご紹介します。

【千葉鴻儀さん】



今回の寄付は、米山奨学会への恩返しです。経済的に困窮している時期に受ける奨学金が、苦学生にとっていかに大きな支えとなるのか、その重みは、経験した者にしか分かり得ないものと痛感しております。これまでも毎年100万円ほど寄付を続けてまいりま

したが、今回は、よりまとまった形でお役に立ちたいと考えました。中国のことわざ「受恩滴水、報恩湧泉（一滴の水の恩には湧き出る泉のごとく報いるべし）」という言葉がありますが、私は今、まさにそれを実践しております。母校である熊本学園大学にも、当時の指導教授の名を冠した奨学金を設立いたしました。志ある優秀な学生たちが、経済的な理由で夢を諦めることなく学び続けられるよう、少しでも力添えができれば幸いです。ロータリー会員の皆さまが持つ慈愛の心と人間愛が、これからも世の中に広く伝わっていくことを切に願っております。

3 寄付金速報 一今年度の寄付実績は6月30日(火)まで一

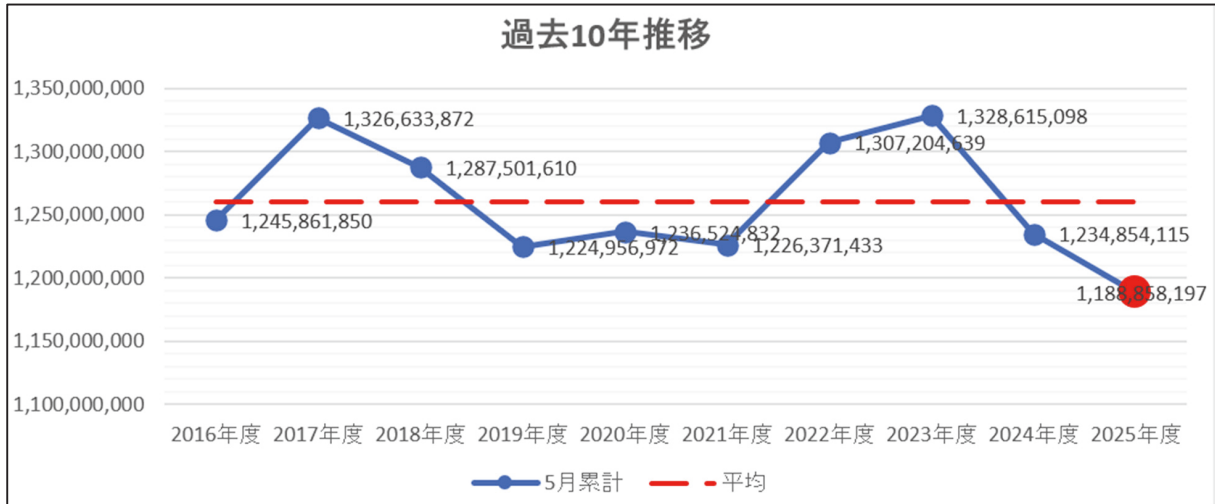
前年同期比

-3.7%

普 +0.3% 特 -5.7%

5月末までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:5.7%減）、約4,600万円の減少となりました。過去10年で最

も低い水準となっており、過去10年の平均累計寄付額と比較しても約7,000万円下回っております。今年度も残り約3週間となりました。2025年度の寄付実績は、普通寄付金、特別寄付金ともに、6月30日(火)までに当財団の銀行口座に入金記帳された分までとなります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



4 スリランカ米山学友会 創立10周年記念式典開催

5月31日、スリランカのコロomboにてスリランカ米山学友会の創立10周年記念総会が開催されました。式典には、磯俣秋男



駐スリランカ特命全権大使、元RI会長のK. R. ラビンドラン氏、第3220地区ガバナーのデルヴィン ペレイラ氏が臨席。当財団からは大久保章宏常務理事が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、台湾の米山学友23人が参加し、会場には102人が集いました。

式典は、スリランカの伝統舞踊で華やかに始まり、同学友会会長のサマンタ テリジャゴダさん(2000-01/羽島RC)の挨拶、続いて大久保常務理事、磯俣大使、ラビンドラン氏、ペレイラ氏が祝辞を述べた後、学友会のこれまでの歩みが紹介されました。学友会10周年特別プロジ

ェクト紹介として、医療機器寄贈など、関わったクラブへの感謝状贈呈が行われ、感謝に満ちた総会となりました。

総会に先立ち、前日に前夜祭、31日午前にはコロomboのシティツアーを開催。戦後日本の主権回復と国際社会復帰への道筋を開いた最大の功労者の一人として知られる同国初代大統領、J. R. ジャヤワルダナ氏の記念館を訪問するなど、スリランカの街と歴史に触れる貴重な機会となりました。



記念館を見学

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <https://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当 : 長尾(ながお)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌北ＲＣ	谷口 昭博	会員	(1回)	5月13日
札幌北ＲＣ	斉藤 昌一	会員	(3回)	5月13日
静内ＲＣ	高田 敏文	会員	(1回)	5月1日
函館東ＲＣ	五十嵐 正	会員	(1回)	5月29日
滝川ＲＣ	山崎 修	会員	(1回)	6月16日
札幌モーニングＲＣ	原田 哲也	会員	(1回)	6月25日
札幌幌南ＲＣ	羽部 大仁	会員	(20回)	6月30日
小樽ＲＣ	上浦 庸司	会員	(4回)	6月5日
小樽ＲＣ	津田 哲哉	会員	(5回)	6月5日
函館五稜郭ＲＣ	三上 吾朗	会員	(2回)	6月25日
函館五稜郭ＲＣ	窪田 良弘	会員	(5回)	6月25日
函館五稜郭ＲＣ	大日向豊吉	会員	(5回)	6月25日
函館五稜郭ＲＣ	濱中 公也	会員	(5回)	6月25日
函館五稜郭ＲＣ	光銭 裕二	会員	(7回)	6月25日
函館五稜郭ＲＣ	石尾 清広	会員	(7回)	6月25日

米山功労クラブ

札幌北ＲＣ	第35回	5月13日
静内ＲＣ	第11回	5月1日
函館東ＲＣ	第25回	5月29日
札幌東ＲＣ	第66回	6月29日
函館五稜郭ＲＣ	第35回	6月25日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メージャードナー

札幌南 R C 平 昌夫 会員 6 月 18 日

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

札幌 R C	加森 公人	会員	(4 回)	2 月 27 日
札幌手稲 R C	齋藤 利和	会員	(1 回)	2 月 27 日
札幌手稲 R C	曾我 千鶴	会員	(2 回)	2 月 27 日
札幌手稲 R C	三戸 義美	会員	(4 回)	2 月 27 日
札幌清田 R C	高橋 宣充	会員	(2 回)	2 月 24 日
札幌南 R C	福山 耕司	会員	(1 回)	2 月 27 日
札幌南 R C	今井 國雄	会員	(3 回)	2 月 27 日
伊達 R C	栗本 茂生	会員	(3 回)	2 月 6 日
江差 R C	田畑 裕士	会員	(1 回)	2 月 27 日
江別 R C	鈴木 誠	会員	(2 回)	5 月 2 日
札幌はまなす R C	愛須 一史	会員	(2 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	野村 勝隆	会員	(2 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	坂田 淳二	会員	(2 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	玉造 啓子	会員	(2 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	徳物 葉子	会員	(2 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	北川 敏夫	会員	(3 回)	5 月 29 日
札幌はまなす R C	坂田 文正	会員	(3 回)	5 月 29 日
札幌北 R C	鈴木 隆也	会員	(2 回)	5 月 13 日
室蘭北 R C	工藤 一人	会員	(3 回)	5 月 29 日
白老 R C	加藤 泰久	会員	(8 回)	5 月 26 日
滝川 R C	宮崎 英彰	会員	(3 回)	6 月 19 日
当別 R C	永上 巖	会員	(2 回)	6 月 29 日
札幌 R C	松下 直樹	会員	(4 回)	6 月 7 日
札幌モーニング R C	大西 正啓	会員	(2 回)	6 月 25 日
札幌モーニング R C	露木 茂	会員	(4 回)	6 月 25 日
札幌モーニング R C	藤森 敏昭	会員	(6 回)	6 月 25 日
札幌西 R C	戸部 謙一	会員	(3 回)	6 月 19 日
札幌南 R C	平 昌夫	会員	(8 回)	6 月 18 日
小樽 R C	半田 善行	会員	(1 回)	6 月 19 日
小樽 R C	杉江俊太郎	会員	(3 回)	6 月 19 日
小樽 R C	金久保兵士郎	会員	(5 回)	6 月 19 日
蘭越 R C	山田 一晴	会員	(1 回)	6 月 26 日
恵庭 R C	敦澤 君治	会員	(1 回)	6 月 3 日
恵庭 R C	西村 英晃	会員	(2 回)	6 月 30 日
恵庭 R C	鈴木伊佐男	会員	(2 回)	6 月 3 日
恵庭 R C	山澤 興治	会員	(2 回)	6 月 3 日
恵庭 R C	大川 武志	会員	(7 回)	6 月 3 日
函館亀田 R C	川口 孝徳	会員	(1 回)	6 月 22 日
函館亀田 R C	金澤 浩幸	会員	(2 回)	6 月 22 日
函館五稜郭 R C	柏木 秀之	会員	(5 回)	6 月 25 日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

砂川 R C	山内 勝人	会員	2月26日
滝川 R C	吉田 英人	会員	2月26日
伊達 R C	太田 亮	会員	2月6日
伊達 R C	吉村 亮輔	会員	2月6日
森 R C	山崎 真護	会員	2月25日
札幌はまなす R C	森 成世	会員	5月29日
札幌北 R C	藏重 健人	会員	5月13日
苫小牧 R C	中原 茂人	会員	5月21日
札幌モーニング R C	阿部 竜司	会員	6月25日
小樽 R C	鷺見 悠	会員	6月19日
小樽 R C	山口真三子	会員	6月19日
函館亀田 R C	高田 明人	会員	6月22日
函館セントラル R C	安藤 正吏	会員	6月24日
函館五稜郭 R C	小林 大作	会員	6月25日
函館五稜郭 R C	小形 雅晴	会員	6月25日

2月の財団表彰のご報告に一部漏れがございましたので、改めて掲載させていただきます。
遅れてのご報告となりました事を、お詫び申し上げます。

5 月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.5.31	増減	内女性
1	深 川	3	28	28	0	2
	羽 幌	3	33	30	-3	2
	留 萌	3	22	23	1	4
	小 計		83	81	-2	8
2	赤 平	2	20	19	-1	3
	芦 別	3	27	27	0	1
	砂 川	3	41	40	-1	2
	滝 川	3	82	82	0	7
	小 計		170	168	-2	13
3	美 唄	2	21	21	0	2
	江 別	4	32	35	3	2
	江 別 西	2	31	29	-2	1
	岩 見 沢	3	89	95	6	3
	岩 見 沢 東	2	9	9	0	0
	栗 沢	2	13	13	0	0
	栗 山	3	22	23	1	4
	当 別	3	27	30	3	3
	小 計		244	255	11	15
4	札 幌	3	105	115	10	3
	札幌はまなす	3	27	28	1	3
	札 幌 北	3	31	37	6	7
	札幌モーニング	3	34	34	0	0
	札 幌 西	3	44	45	1	9
	札 幌 西 北	3	28	36	8	6
	札 幌 手 稲	4	31	30	-1	3
	小 計		300	325	25	31
5	札 幌 東	3	95	94	-1	2
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	3	59	60	1	7
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札 幌 南	2	74	76	2	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新 札 幌	3	19	23	4	6
	小 計		298	304	6	31
6	岩 内	3	30	29	-1	1
	倶 知 安	3	34	33	-1	4
	小 樽	4	73	77	4	5
	小 樽 南	3	49	51	2	5
	小 樽 銭 函	3	10	10	0	1
	蘭 越	2	7	7	0	0
	余 市	2	38	39	1	4
	小 計		241	246	5	20

5月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,305人(206人)
増加会員数	56人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.5.31	増減	内女性
7	千 歳	3	78	75	-3	10
	千歳セントラル	3	41	42	1	9
	恵 庭	3	41	44	3	4
	北 広 島	4	18	17	-1	3
	長 沼	3	16	16	0	3
	小 計		194	194	0	29
8	え り も	2	16	15	-1	1
	三 石	3	10	10	0	0
	様 似	1	5	5	0	1
	静 内	3	55	53	-2	5
	浦 河	2	21	23	2	3
	小 計		107	106	-1	10
9	伊 達	3	53	50	-3	2
	室 蘭	3	26	29	3	4
	室 蘭 東	2	29	28	-1	2
	室 蘭 北	3	45	45	0	1
	登 別	4	31	31	0	2
	洞 爺 湖	3	11	9	-2	0
10	小 計		195	192	-3	11
	函 館	3	66	69	3	5
	函 館 亀 田	3	29	29	0	3
	森	2	30	30	0	2
	七 飯	3	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
11	函館セントラル	3	26	26	0	2
	小 計		174	177	3	12
	江 差	2	10	10	0	0
	函 館 五 稜 郭	3	46	53	7	2
	函 館 東	3	32	36	4	5
	北 斗	4	12	12	0	0
12	小 計		100	111	11	7
	白 老	3	28	31	3	4
	苫 小 牧	3	57	57	0	4
	苫 小 牧 東	4	30	30	0	9
	苫 小 牧 北	3	28	28	0	2
	小 計		143	146	3	19
合 計			2,249	2,305	56	206

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名(内女性会員1名)を含む
 ※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員3名)を含む
 ※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数6名(内女性会員0名)を含む

6 月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.6.30	増減	内女性
1	深 川	4	28	26	-2	2
	羽 幌	3	33	30	-3	2
	留 萌	3	22	23	1	4
	小 計		83	79	-4	8
2	赤 平	3	20	17	-3	3
	芦 別	2	27	27	0	1
	砂 川	3	41	40	-1	2
	滝 川	2	82	81	-1	7
	小 計		170	165	-5	13
3	美 唄	4	21	20	-1	2
	江 別	3	32	32	0	2
	江 別 西	3	31	29	-2	1
	岩 見 沢	4	89	94	5	3
	岩 見 沢 東	3	9	9	0	0
	栗 沢	3	13	13	0	0
	栗 山	3	22	23	1	4
	当 別	3	27	28	1	3
	小 計		244	248	4	15
4	札 幌	4	105	110	5	3
	札幌はまなす	5	27	27	0	3
	札 幌 北	3	31	33	2	7
	札幌モーニング	3	34	34	0	0
	札 幌 西	4	44	41	-3	8
	札 幌 西 北	4	28	36	8	6
	札 幌 手 稲	4	31	27	-4	3
	小 計		300	308	8	30
5	札 幌 東	3	95	94	-1	2
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	4	59	62	3	7
	札幌真駒内	4	18	16	-2	5
	札 幌 南	5	74	78	4	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新 札 幌	3	19	23	4	6
	小 計		298	306	8	31
6	岩 内	4	30	28	-2	1
	倶 知 安	2	34	33	-1	4
	小 樽	4	73	76	3	4
	小 樽 南	3	49	51	2	5
	小 樽 銭 函	3	10	10	0	1
	蘭 越	3	7	7	0	0
	余 市	4	38	39	1	4
	小 計		241	244	3	19

6月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,231人(197人)
増加会員数	-18人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.6.30	増減	内女性
7	千 歳	3	78	69	-9	9
	千歳セントラル	4	41	38	-3	8
	恵 庭	4	41	44	3	3
	北 広 島	4	18	17	-1	3
	長 沼	2	16	15	-1	3
	小 計		194	183	-11	26
8	え り も	2	16	15	-1	1
	三 石	4	10	10	0	0
	様 似	2	5	2	-3	1
	静 内	4	55	50	-5	5
	浦 河	4	21	21	0	3
	小 計		107	98	-9	10
9	伊 達	4	53	49	-4	2
	室 蘭	4	26	29	3	4
	室 蘭 東	3	29	27	-2	2
	室 蘭 北	4	45	44	-1	1
	登 別	4	31	31	0	2
	洞 爺 湖	2	11	9	-2	0
10	小 計		195	189	-6	11
	函 館	4	66	66	0	4
	函 館 亀 田	4	29	27	-2	3
	森	2	30	27	-3	2
	七 飯	3	14	12	-2	0
	長 万 部	2	9	9	0	0
11	函館セントラル	4	26	27	1	2
	小 計		174	168	-6	11
	江 差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	4	46	50	4	1
	函 館 東	4	32	33	1	5
	北 斗	4	12	12	0	0
12	小 計		100	105	5	6
	白 老	4	28	31	3	4
	苫 小 牧	4	57	53	-4	3
	苫 小 牧 東	4	30	27	-3	8
	苫 小 牧 北	3	28	27	-1	2
	小 計		143	138	-5	17
合 計			2,249	2,231	-18	197

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名(内女性会員1名)を含む
 ※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員3名)を含む
 ※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数5名(内女性会員0名)を含む